



2021年9月28日

各位

会社名 株式会社オーハシテクニカ  
代表者 代表取締役社長 柴崎 衛  
(コード番号7628 東証第一部)  
問合せ責任者 取締役事業推進部長 中村 佳二  
(TEL: 03-5404-4420)

## 「オーハシテクニカグループ ESGポリシー」の制定に関するお知らせ

当社は、企業が市場の評価を得て、持続的な成長を果たすためには、自社の経済的価値の追求、法的義務を果たすだけでなく、社会的価値の創造、即ちESGへの対応が不可欠なものと認識しています。

今般、当社グループは、改めてESGへの対応を重要な経営課題の一つとして位置付け、これまで以上に積極的な取り組みを推進するため、「オーハシテクニカグループ ESGポリシー」を制定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

当社グループは、この「ESGポリシー」に則り、ESGの視点から解決すべき重要課題（マテリアリティ）を特定し、その課題解決に向けた取り組みを実践してまいります。

そして持続可能な社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼される企業グループを目指してまいります。

### 記

#### 1. 「オーハシテクニカグループ ESGポリシー」

オーハシテクニカグループは、自社が保有する技術・ノウハウを活用した新たな価値の創造と、次に掲げるESGを重視した健全な事業活動を通じて、「社会的な価値と当社の経済的価値」の最大化を図り、社会と当社グループの持続的な成長を目指します。

##### 1. Environment（環境）

環境に係わる国内外の法令・規制を遵守するとともに、気候変動への対応、省資源・廃棄物削減対応、化学物質管理、生態系保護等、環境問題の解決に積極的に取り組みます。

##### 2. Social（社会）

すべてのステークホルダーの基本的な人権を尊重することを宣言します。  
そして、国際的な行動規範等を尊重しつつ、高い倫理観をもって行動します。  
また、従業員の労働環境、安全、衛生について十分に配慮し、更なる改善に努めます。

##### 3. Governance（ガバナンス）

国内外の法令・規制を遵守し、公正かつ良識ある企業活動を行います。  
経営の透明性確保や、危機管理の徹底のために適切な体制を整備します。

○ 詳細につきましては、当社ホームページ（ニュースリリース欄）をご参照ください。

<https://www.ohashi.co.jp>

以 上

# オーハシテクニカグループ ESGポリシー

2021年9月28日制定



**【オーハシテクニカグループ ミッション・ステートメント】**

もっといい車を作ろうとしている人に

もっといい部品をお届けします

車づくりに欠かせない会社を目指して

**【経営理念】**

新たな価値を創造し

世界のお客様に

信頼される会社を実現する

**【経営方針】**

1. グローバル企業としてさらなる発展をめざす
2. ファクトリー&ファブレス機能を強化し  
卓越した強みを創造する
3. 企業の成長を通し、社員の幸福と  
社会貢献を実現する

## 1. 「オーハシテクニカグループ ESGポリシー」制定の目的

これまで、企業活動の活性化により経済が発展していく一方で、それに起因した地球規模での環境汚染、温暖化、人権問題等さまざまな社会問題が顕在化しております。

この状況を踏まえ、2006年に国連が「Environment（環境）」「Social（社会）」「Governance（ガバナンス）」を重視するよう呼び掛けた事に始まり、現在はグローバルな社会課題を解決し持続可能な世界を実現するための国際目標である「SDGs（持続可能な開発目標）」において、国際機関や政府だけでなく、民間企業が果たすべき役割も明確化されています。

これにより、企業が市場の評価を得て、持続的な成長を果たすためには、自社の経済的価値の追求、法的義務を果たすだけでなく、社会的価値の創造、即ちESGへの対応が不可欠なものとなっています。

当社グループは、改めてESGへの対応を重要な経営課題の一つとして位置付け、これまで以上に積極的な取り組みを推進するため、従前より定めていた「企業行動憲章」に基づく具体的な経営指針として、今般、「オーハシテクニカグループ ESGポリシー」を制定しました。

当社グループは、この「ESGポリシー」に則り、ESGの視点から解決すべき重要課題（マテリアリティ）を特定し、その課題解決に向けた取り組みを実践してまいります。

そして持続可能な社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼される企業グループを目指してまいります。

## 2. オーハシテクニカグループ ESGポリシー

オーハシテクニカグループは、自社が保有する技術・ノウハウを活用した新たな価値の創造と、次に掲げるESGを重視した健全な事業活動を通じて、「社会的な価値と当社の経済的価値」の最大化を図り、社会と当社グループの持続的な成長を目指します。

### 1. Environment（環境）

環境に係わる国内外の法令・規制を遵守するとともに、気候変動への対応、省資源・廃棄物削減対応、化学物質管理、生態系保護等、環境問題の解決に積極的に取り組みます。

### 2. Social（社会）

すべてのステークホルダーの基本的な人権を尊重することを宣言します。そして、国際的な行動規範等を尊重しつつ、高い倫理観をもって行動します。また、従業員の労働環境、安全、衛生について十分に配慮し、更なる改善に努めます。

### 3. Governance（ガバナンス）

国内外の法令・規制を遵守し、公正かつ良識ある企業活動を行います。経営の透明性確保や、危機管理の徹底のために適切な体制を整備します。

### 3. ESGポリシーの対象分野

オーハシテクニカグループの全ての役員・従業員は、以下のESGポリシーの対象分野において、誠実かつ公正に行動します。

#### (1) Environment (環境)

##### ① 環境マネジメント

幅広い環境活動を推進する為、各国・地域の法令・規制を遵守します。  
全社的な管理の仕組みを構築して、継続的に運用・改善します。

##### ② 温室効果ガスの排出削減

地球温暖化防止に貢献するため、各国・地域の法令・規制を遵守します。  
事業活動での温室効果ガスの排出管理を行い、削減活動を推進します。  
エネルギーの有効活用に取り組みます。

##### ③ 大気・水・土壌等の環境汚染防止

大気・水・土壌等の汚染防止に関する各国・地域の法令・規制を遵守します。  
継続的な監視と汚染物質の削減を行い、環境汚染を防止します。

##### ④ 省資源・廃棄物削減

廃棄物の適正処理・リサイクル等に関する各国・地域の法令・規制を遵守します。  
資源の有効活用により廃棄物の最終処分量の削減に努めます。

##### ⑤ 化学物質管理

人体や環境に対して危険をもたらす可能性がある化学物質の安全な管理を行います。  
特定の物質の製品中または製造での禁止または制限に関し、適用される全ての法令・規制を遵守します。また、各国・地域の法令等で指定された化学物質に関しては、法令等に基づき排出量の把握・行政への報告を行います。

##### ⑥ 生物多様性や生態系の保護

事業活動と原材料調達を含む部品製造において、生物多様性と生態系の保護に努めます。

## (2) Social (社会)

### ① 差別撤廃

あらゆる雇用の場面（※）において、人種・民族や出身国籍・宗教・性別・障がい・年齢等を理由とした差別を行いません。

（※：採用、雇用、昇進、賃金、解雇、業務付与、懲罰など）

### ② 人権尊重

人種・民族や出身国籍・宗教・性別・障がい・年齢等を理由とした、職場におけるあらゆる形態のハラスメントを許しません。

### ③ 児童労働の禁止

各国・地域の法令による就労可能年齢に達しない児童の労働は認めません。

### ④ 強制労働の禁止

全ての労働は自発的であること、及び従業員が自由に離職できることを確実に保証し、強制労働は行いません。

### ⑤ 紛争鉱物等への対応

紛争地域および高リスク地域において、武装集団に対する支援、児童労働などの人権侵害、腐敗行為、環境破壊などに関わる恐れのある紛争鉱物（スズ、タンタル、タングステン、金）やコバルトなどの鉱物を含んだ部品・材料の調達を回避するため、責任ある調達活動に取り組みます。

### ⑥ 賃金および福利厚生

最低賃金、時間外労働、賃金控除、出来高賃金および、福利厚生に関連する法令を含め、雇用に関して適用される各国・地域の法令を遵守します。

### ⑦ 労働時間

従業員の労働時間(超過勤務を含む)の決定、及び休日・年次有給休暇の付与、その他について各国・地域の法令を遵守します。

### ⑧ 従業員との対話・協議

従業員の代表、もしくは従業員と、誠実に協議・対話します。

従業員が自由に結社する権利または結社しない権利を、各国・地域の法令に基づいて認めます。

### ⑨ 安全・健康な労働環境

従業員の職務上の安全・健康の確保を最優先とし、事故・災害の未然防止に努めます。



### (3) Governance (ガバナンス)

#### ① 法令の遵守

各国・地域の法令を遵守します。また、コンプライアンス徹底の為の方針や体制、行動指針・通報制度・教育等の仕組みを整備し、実施します。

#### ② 競争法の遵守

各国・地域の競争法を遵守して、私的独占、不当な取引制限（カルテル、入札談合等）、不正な取引方法、優越的地位の濫用などの行為を行いません。

#### ③ 腐敗防止

政治献金・寄付等は各国・地域の法令に基づき実施し、政治・行政と透明かつ公正な関係づくりに努めます。

不当な利益・優遇措置の取得・維持を目的に、ビジネスパートナーに対して、接待・贈答・金銭の授受・供与は行いません。

#### ④ 機密情報の管理・保護

お取引先さま・協力企業さま・自社従業員・第三者の個人情報や機密情報は、正当な方法で入手するとともに、厳重に管理し、適正な範囲で利用し、保護します。

#### ⑤ 輸出取引管理

各国・地域の法令等で規制される技術・物品等の輸出に関して、適切な輸出手続・管理を行います。

#### ⑥ 知的財産の保護

自社が保有あるいは自社に帰属する知的財産権を保護するとともに、第三者の知的財産の不正入手・使用、権利侵害を行いません。

#### ⑦ コーポレートガバナンスの強化・ESG マネジメント体制の構築

取締役会の更なる実効性向上に取り組みます。

自社のESGに係わる取り組みを推進し、管理するために適切な体制を整えます。

#### ⑧ 危機管理の徹底

市民生活や企業活動に脅威を与える反社会的勢力の行動や、テロ行為、サイバー攻撃、自然災害等に備え、組織的な危機管理を徹底します。

#### ⑨ 適切な情報開示

ESG への取り組み等を含む当社グループの企業情報の開示を積極的かつ公正に行い、全てのステークホルダーとの相互理解、信頼関係の維持・発展に努めます。

以上